

2025年12月25日

公益財団法人 日本卓球協会

2026年アジア卓球選手権大会兼2027年世界卓球選手権大会（個人戦）
アジア大陸予選会および2027年世界卓球選手権大会（個人戦）
男女日本代表選手選考基準

1. 2026年アジア卓球選手権大会兼2027年世界卓球選手権大会（個人戦）アジア大陸予選会（以下、アジア選手権）男女日本代表選手選考基準

期　　日：2026年10月中旬頃予定

開催都市：未定（ウズベキスタン）

（1）男女団体・男女シングルス代表選手選考方法（最大出場枠数：男女各5名）

- ① アジア選手権最終エントリー日14日前が含まれる週の世界ランキング日本人上位3選手
- ② アジア選手権日本代表選考会（以下、選考会）優勝者
- ③ 2026年全日本選手権大会一般の部シングルス優勝者
- ④ 上記①～③より選出された選手が重複し、最大出場枠数に満たない場合には以下の順番で選手を選出する。

上記①を除いた、アジア選手権最終エントリー日14日前が含まれる週のシングルス世界ランキンギング日本人選手上位順

（2）男女ダブルス・混合ダブルス代表ペア選考方法

（最大出場枠数：男女ダブルス各2ペア・混合ダブルス2ペア）

各ダブルスの代表ペアは、上記1.（1）で選考された選手に基づいて、優勝もしくはメダル獲得の可能性が高いペアを強化本部にて決定する。ただし、これらダブルス3種目の代表にはダブルス専用要員として、上記1.（1）で選考された以外の選手を男女合計最大4名まで加えることがある。

（3）選考会概要

期　　日：2026年5月26日～28日（予定）

場　　所：所沢市民体育館

試合方法：男女各24名の参加者を8グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ1位の選手計8名で決勝トーナメントを行う。全試合、5ゲームマッチ。

出場資格：選考会出場者は以下の順番で24名になるまで選出する。

- ① 2026年全日本卓球選手権大会一般の部シングルスベスト8以内（優勝者を除く）の選手
- ② ①及び当該大会一般の部シングルス優勝者を除き、選考会開催の30日前が含まれる週の世界ランキング20位以内に入る選手のうち、上位より最大4名
- ③ 2025年全日本社会人卓球選手権大会シングルス優勝者
- ④ 2025年全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）シングルス優勝者
- ⑤ 2026年全日本卓球選手権大会ジュニアの部ベスト4以内の選手
- ⑥ 2025年世界ユース選手権大会U19・U15シングルス優勝者
- ⑦ 2026年アジアユース・世界ユースU18日本代表国内選考会優勝者
- ⑧ 2026年アジアユース・世界ユースU15日本代表国内選考会優勝者

- ⑨ 2026 年 4 月発表の NT、NT 候補選手の名簿順
- ⑩ 2026 年 4 月発表の JNT-U18 選手の名簿順
- ⑪ 2026 年 4 月発表の JNT-U15 選手の名簿順
- ⑫ 強化本部推薦

2. 2027 年世界卓球選手権大会（個人戦）（以下、世界選手権）男女日本代表選手選考基準

期　　日：2027 年（日程未定）

開催都市：アスタナ（カザフスタン）

（1）男女シングルス代表選考方法（最大出場枠数：男女各 5 名）

上記 1. (1) の出場選手の中でアジア選手権にて世界選手権の出場枠を獲得した選手

（2）男女ダブルス・混合ダブルス代表ペアの選考方法

（最大出場枠数：男女ダブルス各 2 ペア・混合ダブルス 2 ペア）

上記 1. (2) の出場ペアの中でアジア選手権にて世界選手権の出場枠を獲得したペア

（3）世界ランキング推薦枠による選考

上記 1. (1) および (2) で枠を獲得していない選手／ペアがおり、世界ランキング推薦枠に空きがある場合は以下の通り選手を選出する。

① シングルスは以下の順番で選出する

イ) 2027 年全日本卓球選手権大会一般の部シングルス優勝者

ロ) 最終エントリー日 14 日前が含まれる週のシングルス世界ランキング日本人選手上位順

② ダブルスのペアは優勝もしくはメダル獲得の可能性が高いペアを強化本部にて選出する。

補足

(1) ATTU および ITTF が大会要項の詳細を追加で発表し、本選考基準との齟齬が発生した場合は再度理事会で審議する。

(2) 代表決定者が故障等で参加が不能となった場合、その代替選手およびペアについては、各大会の大会要項に従い強化本部が決定する。

* なお、他の国と地域の協会から日本卓球協会へ登録を移籍した選手は、ITTF の定める世界選手権出場資格要件を満たしていることが、上記対象大会代表選手選考の前提条件となる。

以上